

夏－9 私の選択

1. 活動の目的

- ①過去の人生について、どのように選択し、決断してきたかを振り返る。
- ②決断するまでの過程を知り、学習者自身や他のメンバーの考え方を理解し合う。

2. 準備するもの (☆は教材ファイルにあるもの)

なし

3. 活動の手順 発：発展的活動 留：留意点 参：参考

活動1

- ・ここでは「選ぶ→進む」作業をする。
- ・簡単な性格診断チャートをする。
- ・始める前に各項目の意味を確認し、やり方を説明する。
 - ①自分の性格を簡単に診断できる。
 - ②各項目に、「はい」(実線)「いいえ」(点線)のどちらかを選び、次に進む。
 - ③各項目の文章を理解しているか確認する。
 - ④考えすぎないで、直感で次に進む。
- ・全員同時にやっても良いし、問題を読みあげながら1人ずつやってもおもしろい。学習者のレベルによって、やり方を工夫する。
- ・結果とその過程について聞く。
- ・直感で決められるもの、そうでないものがあるか、話してもらう。
- ・途中で「はい・いいえ」を迷ったものがあれば、違う方を選択したらどうなるか考えるのも面白い。
- ・ゲーム感覚のチャートなので、皆で楽しくやってみる。

留 このチャートは本格的な心理学的な性格診断ではないので、結果について当たっているかどうかを真剣に議論しない。
個人の性格について、深く踏み込まないようにする。

活動2

- ・今までの人生で一番大きな選択・決断は何か話す。
- ・進学、仕事、結婚、以外にも何かないか聞いてみる。
- ・思い浮かばないようなら、ボランティアが自分のことや、学習者が知らない誰かのことを例に話しても良い。

例：留学した。都会から田舎に引っ越した。新しい習い事を始めた。等々。
- ・ひとりで決められることはどんなことか、相談者が必要なのはどんなことか、聞いてみる。
- ・決断の時、どんなことを考えたか、迷ったか等、話してもらう。

留 この活動は学習者自身の話になるので、くれぐれもプライバシーに気をつける。特に進学、結婚の話題には気をつける。また人生相談にならないようにする。自分のことを話したくない学習者には、誰か知り合いのこと等を話してもらっても良い。

留 若い学習者がいれば、彼らなりの決断を聞きだし、きちんと受け止める。

コラム

流行語から定着した「たれば」という日本語について知る。

「たれば」は過去の出来事や未来の仮定の話をする事である。そんなムダな話をしないで、自分を信じて進もう。

活動3

- ・ 毎日の生活は小さな選択の積み重ねということを知る。
- ・ 朝起きてから教室に来るまでの色々な選択を聞く。

テキスト以外の例：

(雨の予報に) 傘を持っていく？ (駅の) 階段かエスカレーターか？

- ・ 何を、どんな時に決められないか、また、それぞれの考え方やこだわりを話しあう。それによって、自分自身の選択・決断の傾向を知る。

例) カフェに行く→おいしい？/サービスは？/落ち着ける？

読みたい本→図書館で借りる？/本屋で買う？